

ひまわり

宮崎社会保険病院
病院長 石川 正

宮崎市大坪西1-2-1
TEL.0985(51)7575
FAX.0985(53)8821



平成17年も残り数カ月、虫の音が次第に秋の気配を色濃くしつつあります。

各医療機関の先生方には、当院の地域医療連携に日頃より御協力いただきありがとうございます。

また、今年は台風14号により、医療機関にも床上浸水などの被害が及び、復旧にはまだまだ時間のかかる地区があります。できるだけ早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、現在当院では、地域医療支援病院を目指し、紹介率の向上と逆紹介の推進を行っており、今後ますます地域の医療機関との連携を深めながら診療を行っていきたいと考えております。地域医療連携室は、地域の医療機関のための組織として働くことを心がけておりますので、

当院への紹介や相談等ありましたら、気軽にご利用ください。

今後とも御協力宜しく申し上げます。



地域医療連携室長 白尾 一定

ご紹介します！ 社会保険病院の診療科

今回は、

麻酔科

です。



近藤 修 (麻酔指導医)



山下昌子 (麻酔専門医)

今回は麻酔科の紹介をさせていただきます。

麻酔科は平成14年1月に開設されました。宮崎社会保険病院の診療科の中では最も新しい診療科です。

現在は常勤医師1名、非常勤医師1名の計2名で診療を行っています。

常勤医師の麻酔科主任部長 近藤修 (麻酔指導医) は宮崎医科大学 (現在は宮崎大学医学部) を平成2年に卒業し主に大学および県外の公立病院で勤務した後、麻酔科開設時より当院に勤務しております。非常勤医師の山下昌子 (麻酔専門医) は平成元年に宮崎医科大学を卒業し、大学、県立宮崎病院などに勤務した後、平成16年6月より火曜日から木曜日までの週3日間非常勤医師として当院に勤務しております。

麻酔科医の主な仕事は手術の麻酔管理を行うことです。各診療科と関係して、安全を第一に細心の注意をはらって患者様の麻酔管理を行っています。

最近では麻酔管理の難しい循環

器や呼吸器の合併症のある患者様の手術も増え、さらには80才後半から90才以上の超高齢者の方の手術も珍しく無くなってきました。そのような場合には術中の麻酔管理だけでなく、各診療科の主治医や内科医と協力して術前から術後までトータルな周術期管理を行うことも多くなってきました。

また術中から硬膜外麻酔で麻薬などを使用し、そのまま術後も持続硬膜外ブロックを行って患者様の痛みをなるべく少なくし、無気肺などの術後合併症を減らすための術後疼痛管理も麻酔科の仕事に加わってきています。常に術前から術後までをトータルに考えた質の高い周術期麻酔管理を目標として麻酔科医の仕事を行っています。

開設以来の診療実績としては各診療科の手術の内、麻酔科管理症例は平成14年度493例、15年度553例、16年度638例と毎年増加しております。

また、麻酔管理と連動して手術室の運営管理も麻酔科の重要な仕事です。高瀬手術室科長以下看護

師10名、看護助手1名とともに、患者様が安全に、なおかつ快適に手術をうけられるように、また御紹介いただいた、手術の必要な患者様を長期間お待たせすることがないよう効率的な手術室の運用を心掛けております。

御存じの通り、麻酔科医師は全国的に不足しており、当院もなかなか増員できないのが悩みの種ですが、将来的に麻酔科医師が増えれば集中治療 (ICU) や癌性疼痛に対する緩和医療などにも仕事の幅を広げていきたいと考えております。

最後に、宮崎社会保険病院では本年度6月より手術室において救急救命士の挿管実習を実施しております。実習は私ども麻酔科が担当し現在までに1名が終了し、1名が実習中であります。この挿管実習は患者様のご協力が無いと成り立ちませんが、幸いにして多くの患者様にご協力していただき実習は大変順調に進んでおります。

この場を借りて御協力いただいた患者様に厚く御礼を申し上げます。

(文責:近藤 修)

症例検討会へどうぞ

9月は通常の症例検討会はお休みさせていただき、9月16日 (金) に宮崎観光ホテルにて特別講演を開催いたしました。鹿児島大学大学院医歯学総合研究科より腫瘍制御学・消化器外科学教授の愛甲孝先生をお招きし、『消化器癌治療の最前線』というメインテーマのもと、現代医療について最新かつ貴重な講演を拝聴させていただきました。

大変お忙しい中、お時間をつくっていただいた愛甲孝教授、また、ご出席いただきました各医療機関の先生方、本当にありがとうございました。

今後ともよろしくお願い致します。

● 今後の予定 ●

11月

11月17日 (木)

地域医療を 支える



院長 澤野 文俊

このたびは、開設五十周年おめでとうございます。江南病院、宮崎社会保険病院が半世紀にわたって中核病院としての役割を担ってきましたことに敬意を表し、また、改めて感謝いたします。この50年の歴史に私も8年7ヶ月間加えさせて頂きました。その間、専門科を越えて、後輩・先輩方に多くの事を教えて頂き、また協力して頂きました。この期間の貴重な経験は、何事にも代えられない財産になっています。ありがとうございました。

さわの内科クリニックの歴史は、まだ2年にもなりません。緊急検査はできず、入院施設もなく、CTや内視鏡もないクリニックですので、医療連携は非常に大切なものだと思います。実際、開業してからも、宮崎社会保険病院の各科の先生達には大変お世話になっています。気胸、虫垂炎、腹膜炎、腹壁ヘルニア陥頓、膵炎、外傷、肺炎、腎不全などの緊急入院では、時間外、休日にもかかわらず快くお引き受け頂き、大変感謝しています。また、内視鏡検査やCT、MRIなどの検査も迅速に予定を組んで対応して頂いています。特に本院では血液透析を行っており、透析中の患者さんが悪くなった時にはこの病院でも紹介できるものではありませんので、透析患者も入院できる宮崎社会保険病院をとて頼りにしています。これからもよろしく願いいたします。

診療所から見た医療連携は、一般的には先に書いたような救急医療や専門医への依頼、入院収容の紹介、高度な技術や高額な医療機器を使う検査や治療に対する紹介の事になると思います。

さわの内科クリニック

〒880-2112 宮崎市大字小松2842番地2

TEL 0985-62-3800

FAX 0985-62-3888

そのほとんどが医師と医師との個人的なつながりの中での連携です。そういった意味では、症例検討会にて様々な専門科の先生方を知ることが出来るのは大変有意義な機会になっています。

その症例検討会ですが、開業して勉強をする機会が少なくなった私にとっては、非常に貴重な会です。最近の知見や治療方法を症例を通して提示して下さいますし、また、内科以外の専門科は全くと言っていいほど知りませんので、新鮮味を持って興味深く拝聴しています。広い意味での医療連携には、このような症例検討や研究の場を提供することも含まれていると思います。最新の情報ばかりでなく確立された医療を再認識できるような情報交換や提供のできる検討会へ発展することを望んでいます。

多くの医療連携が、個人的なつながりで成り立っているのが現状で、人と人とのつながりがとても大切なことを改めて感じている日々です。そのような人のつながりを根幹としながら、様々なニーズに応えられ、多くの情報を提供する、宮崎社会保険病院独自の医療連携システムが出来上がっていくことを期待しています。

宮崎社会保険病院 外来担当医一覧表

診療科	診療	曜日	月	火	水	木	金
内科	新患		渡邊 玲子	松本 充峰	松尾 剛志	西 桂子	平山 直輝
			稲垣 浩子	松尾 剛志	高木 信雄	平山 直輝	川崎 由香
	再来		平山 直輝	石川 正	石川 正	石川 正	松尾 剛志
			高木 信雄	稲垣 浩子	渡邊 玲子	渡邊 玲子	稲垣 浩子
				平山 直輝	川崎 由香	川崎 由香	松本 充峰
				今村 卓郎	北村 和雄		渡邊 玲子
	特殊再来(午後)			高木 信雄	高木 信雄	稲垣 浩子	
外科			白尾 一定	貴島 文雄	白尾 一定	秦 洋一	貴島 文雄
	乳腺・甲状腺外来(午前)						白尾 一定
	ストーマ外来(午後)		貴島 文雄 (第1,3月曜)				
	NST外来(午後)				白尾 一定 (第3水曜は除く)		
形成外科	第1 診察室		大安 剛裕	伊木 秀郎	大安 剛裕	高橋 国宏	大安 剛裕
	第2 診察室		岡 潔	岡 潔	高橋 国宏	岡 潔	伊木 秀郎
整形外科	第1 診察室		本部 浩一	有住 裕一	本部 浩一		本部 浩一
	第2 診察室		江夏 剛		吉川 大輔	江夏 剛	有住 裕一
	初診		有住 裕一	本部 浩一	江夏 剛	吉川 大輔	江夏/吉川 (10:30~)
放射線科			結城 康弘	杜若 陽祐	杜若 陽祐	杜若 陽祐	杜若 陽祐
	プライマリーケア(午後)		川崎 由香 (西 桂子)	稲垣 浩子 (平山直輝)	渡邊 玲子 (松本 充峰)	松本 充峰 (渡邊 玲子)	西 桂子 (川崎 由香)

*都合により変更になる場合があります。

(平成17年10月1日現在)

受付時間 8:30~17:15 (但し、急患・紹介患者はこの限りではありません)

Information

●介護老人保健施設サンビュー宮崎

○入所サービス ○短期入所(ショートステイ)サービス
○通所リハビリテーション

サンビュー宮崎では、おひとりおひとりの人間性を重視したケアを行っています。また、お花見や納涼祭、運動会、誕生日会など、年間を通してさまざまなイベントを行っています。

※ 介護認定を受けている方で利用を希望される方、随時受け付けております。

●居宅介護支援サービス

介護支援専門員(ケアマネジャー)が配置されており、介護保険申請の代行手続きから利用に至るまで、介護保険に関するすべての相談援助・サービス調整などを行っています。

編集後記

厳しく照りつけていた残暑の日差しも穏やかになり、秋の深まりを感じられる今日この頃、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

これから寒さも本格的になり、体調を崩しやすい季節になりますが、医療機関で働く者として健康管理をしっかりおこなってきたいと思っている次第です。

申し遅れましたが、本年6月より、私(立山)が、地域医療連携室の専任担当をさせていただいております。至らない点もあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ご意見・お問い合わせ

宮崎社会保険病院 地域医療連携室

TEL.0120-855-082 FAX.0120-855-083

(地域医療連携室長:白尾一定 専任担当:立山奈月)